

速報第3号

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

チャバネアオカメムシの発生状況について

このことについて、病虫害発生予察速報第3号を発表したので送付します。

9月中旬頃から再び果樹園に飛来するものと予想されます。

例年被害が出ている地域では、予察灯の誘殺状況と園への飛来状況には注意し、早期発見と適期防除を行うよう指導願います。

果樹

- 1 作物名 果樹全般（カキ、カンキツ等）
- 2 病虫害名 チャバネアオカメムシ
- 3 速報の内容  
果樹園への飛来量 前年よりやや多（平成20年並）  
果樹園の飛来時期 9月中旬～下旬頃

4 速報の根拠

(1) 県下5か所（飯塚市庄内、筑紫野市、うきは市、久留米市田主丸町、八女市黒木町）の予察灯における8月1半旬～9月1半旬の合計誘殺数は12,337頭（前年5,273頭、前々年11,126頭）と前年より多く、前々年並であった。

また、予察灯での誘殺数は、県内各地域とも9月以降増加傾向にある（図1）。

(2) 県下22か所における、9月2半旬のビーティング調査の結果、1地点当たりの虫数は4.1頭（前年1.8頭、前々年12.8頭）で前年より多く、前々年より少なかった（表1）。

また、県内の主要齢期は、成虫と5齢幼虫の合計割合が、全体の約8割（筑後支所管内約9割）と高く、9月中旬以降に成虫が増加すると予想される。

(3) ヒノキ1球果当たりの平均口針鞘数が25本を超えると、ヒノキから離脱するとされているが、県下21か所における9月2半旬のヒノキ球果の口針鞘数調査結果は、1果当たり県内平均19.4本であった（表1）。

\*筑後支所管内は8月5半旬の調査時点で、離脱する目安とされる25本を超えている。

\*本所管内は口針鞘数にやや地域差が認められるものの、平均18本になっている。

\*行橋支所管内の口針鞘数は少ない。

(4) 9月上旬の本所管内におけるカキの被害状況は、西村早生で1.5%（前年：0.7%）、伊豆で1.8%（前年：0.1%）、富有で0.2%（前年：0.0%）と前年よりやや多く、西村早生と伊豆で被害果の発生が多い地域（10～13%）が認められている（表2）。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 飛来時期や飛来量は地域によって差が大きいので、こまめに園を見回り、飛来が認められたら防除を行う。
- (2) チャバネアオカメムシは広範囲に移動するため、広域一斉防除が有効である。
- (3) 農薬散布に当たっては、樹種によって使用できる薬剤が異なるので、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

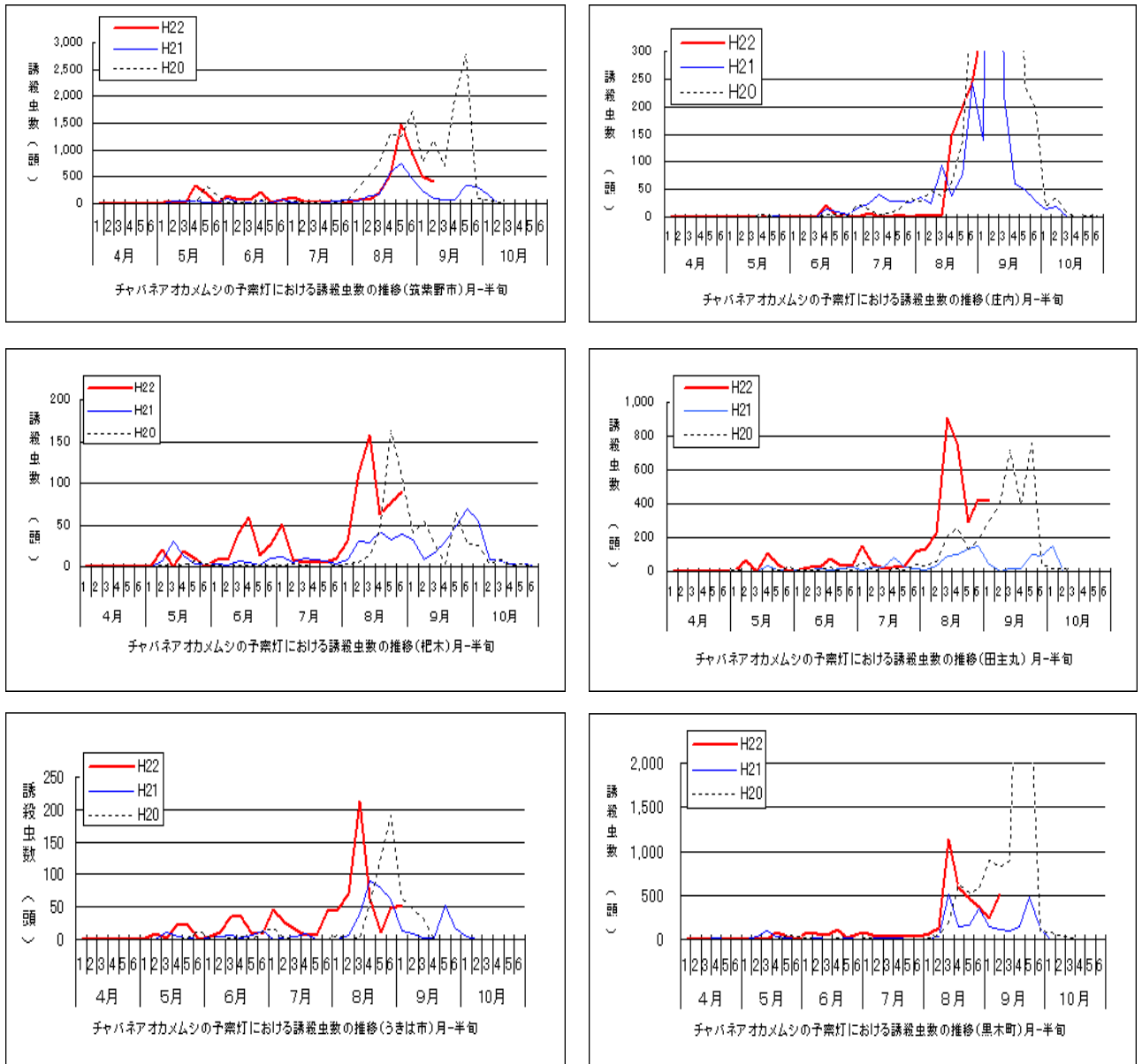


図1 県下6地点の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

表1 ヒノキ球果の口針鞘数及びビーティング調査による果樹カメムシの虫数（9月2半旬調査）

調査場所	口針鞘数調査		ビーティング調査(頭)															
	ヒノキ球果		チャバネアオカメムシ								ツヤアオカメムシ			クサギカメムシ			3種の合計	
	被害球果率(%)	口針鞘数(本)	成虫数	幼虫数					計	成虫数	幼虫数	計	成虫数	幼虫数	計			
			1令	2令	3令	4令	5令	計										
行橋支所管内	岡垣町上畑	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岡垣町戸切	80	3.8	0	0	2	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
	みやこ町犀川町木山	67	1.0	1	0	0	1	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	3
	上毛町唐原	60	1.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	築上町寒田	65	2.2	4	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4
	築上町本庄	55	1.2	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
	行橋支所平均(6か所)	66	2.3	1.2	0	0.3	0.3	0	0.2	0.8	2.0	0	0	0	0	0	0	2.0
本所管内	宗像市山田	100	23.5	8	0	0	0	2	0	2	10	0	0	0	0	0	0	10
	前原町高祖	100	17.8	5	0	0	1	3	4	8	13	0	0	0	0	0	0	13
	古賀市青柳	100	21.9	1	0	0	0	1	1	2	3	0	0	0	0	0	0	3
	庄内町入水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	久留米市田主丸町益生田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	久留米市田主丸町森部	100	13.9	1	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2
	うきは市浮羽町小塩	100	21.2	3	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
	朝倉市柿原	100	15.3	1	0	1	2	0	0	3	4	3	0	3	0	0	0	7
	朝倉市屋形原	100	12.8	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	朝倉市宮野	100	17.0	14	0	0	0	0	0	0	14	4	0	4	0	0	0	18
朝倉市須川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
朝倉市杷木町志波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本所平均(8か所)	100	17.9	4.1	0	0.1	0.5	0.8	0.8	2.1	6.3	0.9	0	0.9	0	0	0	7.1	
筑後支所管内	大牟田市上内	100	25.3	2	0	0	2	0	8	10	12	1	0	1	1	1	2	15
	みやま市山川町立山	100	29.6	4	0	0	0	0	0	4	1	0	1	0	0	0	0	5
	八女市立花町白木	100	33.7	0	0	0	0	0	1	1	5	0	5	0	0	0	0	6
	八女市立花町飛形山	100	37.0	5	0	0	0	0	0	5	6	0	6	0	0	0	0	11
	八女市黒木町野田山	100	30.4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	八女市黒木町今	100	44.0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	2
	広川町徳	100	33.1	2	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	0	0	4
	八女市宅間田	100	21.8	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	筑後支所平均(8か所)	100	31.8	2.0	0	0	0.4	0	1.3	1.6	3.6	1.9	0	1.9	0.1	0.1	0.3	5.8
県内平均(22か所)	91.8	19.4	2.5	0	0.1	0.4	0.3	0.8	1.6	4.1	1.0	0	1.0	0	0	0.1	5.2	
チャバネアオカメムシの 年齢構成	県内平均(%)		61.5	0	3.3	9.9	6.6	18.7	38.5	100	成・幼虫比(%)			成・幼虫比(%)				
	筑後支所管内平均(%)		55.2	0	0	10.3	0	34.5	44.8	100	100	0	100	50	50	100		
平成21年	100	(13.0)	0.8	0	0.5	0.3	0.2	0.0	1.0	1.8	2.3	0.7	3.0	0	0.5	0.5	5.3	
平成20年	97	(17.1)	9.4	0	0	0.7	1.0	1.7	3.4	12.8	8.1	2.7	10.8	0.2	0.1	0.3	23.8	
平成19年	100	23.4	1.0	0	0.3	0	0.7	0.8	1.8	2.8	0.3	0.3	0.7	0	0	0	3.5	

- 注1) 口針鞘数調査は1地点当たり20球果、口針鞘数は20球果の平均である。  
 注2) ビーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたき落として、その合計虫数である。  
 注3) 行橋支所管内の口針鞘数調査地点は5か所で、虫数調査地点は6か所である。  
 注4) 平成20年度と平成21年度の口針鞘数は、ヒノキの球果数が少なく調査地点が極端に少なかったため、参考的な値である。

表2 果樹カメムシによるカキの被害状況（9月上旬調査）

品種	調査地点	調査日	被害果率(%)	品種	調査地点	調査日	被害果率(%)	品種	調査地点	調査日	被害果率(%)
西村早生	屋形原	9月10日	10	伊豆	鳥集院	9月3日	0	富有	飯塚市 入水	9月8日	0
	鳥集院		1		宮野	0	堤		1		
	朝倉市 須川		0		朝倉市 上須川	0	朝倉市 山田		9月5日	0	
	山田		0		朝倉市 須川	0	杷木志波		0		
	杷木志波		1		山田	0	浮羽町流川		0		
	杷木古賀		1		杷木志波	0	うきは市 吉井町福益		1		
	浮羽町山北		1		吉井町屋部	13	吉井町鷹取		9月3日	0	
	うきは市 吉井町福益	1	うきは市 吉井町福益		3	久留米市 田主丸町地徳	0				
	久留米市 田主丸町麦生	0	吉井町鷹取		0	山本町耳納	0				
	山本町耳納	0	-		-	-	-				
平成22年平均	1.5	平成22年平均	1.8	平成22年平均	0.2						
平成21年平均	0.7	平成21年平均	0.1	平成21年平均	0.0						

